

2018年漁業センサス 海面漁業調査（漁業経営体調査）の概要

平成30年11月1日調査

1 海面漁業の基本構造

高知県の漁業経営体数は1,599、漁業就業者数は3,295、漁船の隻数は2,524で前回調査(平成25年11月1日)と比べて、漁業経営体数が645減、漁業就業者数が675減、漁船の隻数が797減となっています。

表1 海面漁業の基本構造

	平成30年	平成25年	増減数	増減率(%)
漁業経営体数(経営体)	1,599	2,244	△645	△28.7
漁業就業者数(人)	3,295	3,970	△675	△17.0
漁船の隻数(隻)	2,524	3,321	△797	△24.0

2 漁業経営体数

漁業経営体数は、近年減少しており、前回調査と比べ645減となっています。

小海区別にみると、同様に減少傾向にあり、前回調査と比べ、安芸海区139減、中土佐海区218減、幡多海区288減となっています。

図1 漁業経営体数の推移(高知県・全国)

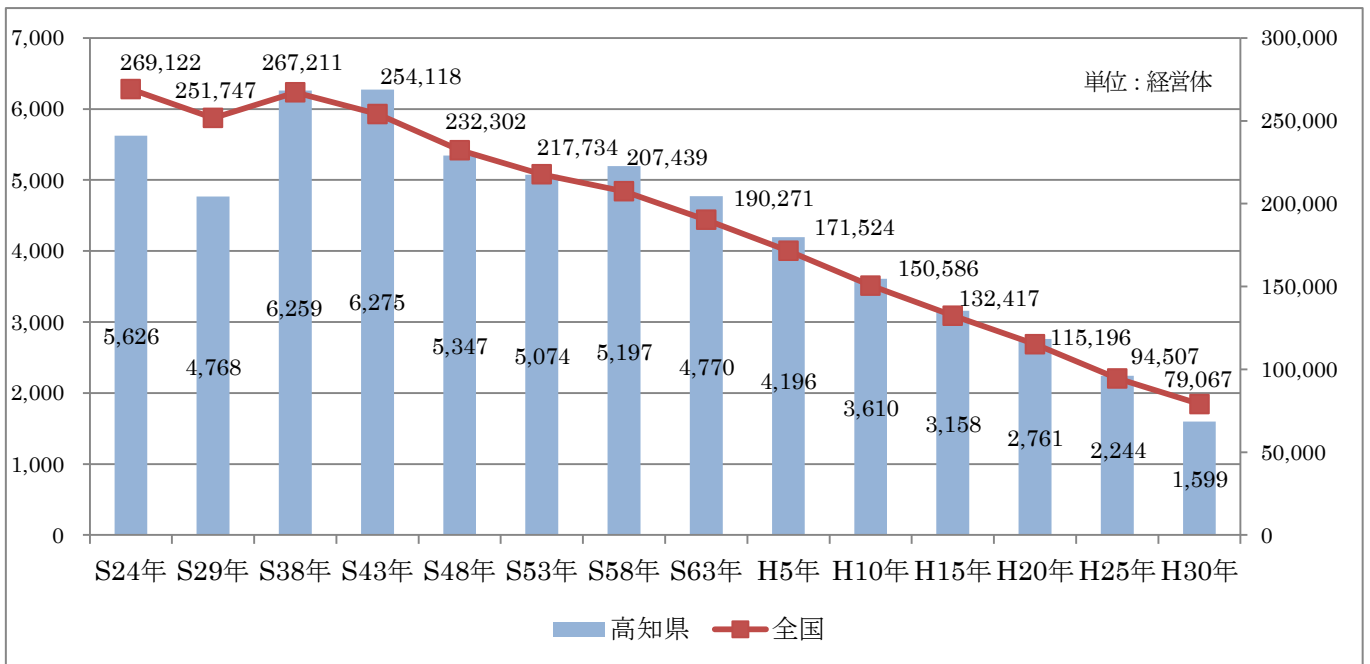


表2 小海区別経営体数

単位：経営体

年次	経営体数	安芸海区	中土佐海区	幡多海区
平成15年	3,158	697	1,078	1,383
平成20年	2,761	584	932	1,245
平成25年	2,244	467	701	1,076
平成30年	1,599	328	483	788
前回調査からの増減数	△645	△139	△218	△288
前回調査からの増減率	△28.7	△29.8	△31.1	△26.8

注：安芸海区（東洋町から芸西村）、中土佐海区（香南市から四万十町）、幡多海区（黒潮町から宿毛市）

(1) 漁業層別経営体

経営体数を沿岸及び沿岸以外の漁業層別にみると、前回調査と比べ、いずれも減少しています。沿岸漁業層では621減、沿岸以外の漁業層は24減となっています。

表3 沿岸及び沿岸以外の漁業層別経営体数

単位：経営体

漁業層	経営体数		構成比(%)		増減数	増減率(%)	
	平成30年	平成25年	平成30年	平成25年			
総数	1,599	2,244	100.0	100.0	△645	△28.7	
内訳	沿岸漁業層	1,428	2,049	89.3	91.3	△621	△30.3
	海面養殖層	105	175	6.6	7.8	△70	△40.0
	上記以外の沿岸漁業層計	1,323	1,874	82.7	83.5	△551	△29.4
	沿岸以外の漁業層	171	195	10.7	8.7	△24	△12.3

注：1 沿岸漁業層とは、漁船非使用、無動力漁船、船外機付漁船、動力漁船10トン未満、定置網及び海面養殖の各階層を総称したものをいう。

2 沿岸以外の漁業層とは、上記以外（10トン以上の動力漁船使用）の階層をいう。

(2) 組織別経営体

経営体数を組織別にみると、前回調査と比べ、個人経営体では626減、団体経営では、19減となっています。

表4 経営組織別経営体数

単位：経営体

経営組織	経営体数		構成比(%)		増減数	増減率(%)	
	平成30年	平成25年	平成30年	平成25年			
総数	1,599	2,244	100.0	100.0	△645	△28.7	
個人経営	1,507	2,133	94.2	95.1	△626	△29.3	
団体経営	92	111	5.8	4.9	△19	△17.1	
内訳	会社経営	69	75	4.3	3.3	△6	△8.0
	漁業協同組合	3	3	0.2	0.1	—	—
	漁業生産組合	—	—	—	—	—	—
	共同経営	20	33	1.3	1.5	△13	△39.4
	その他	—	—	—	—	—	—

(3) 販売金額規模別経営体

漁獲物・収穫物の販売金額規模別の経営体数をみると、販売金額が5百万円未満の経営体は1,040（構成比65.0%）と全体の約7割を占めています。また、販売金額が5千万円以上の経営体は120（同7.5%）あります。前回調査と比べると、販売金額1億円未満の各階層は減少しているものの、1億円以上の階層は増加しています。

表5 漁獲物・収穫物の販売金額別経営体数（高知県・全国）

単位：経営体

			計	1百万円未満	1百万円～5百万円	5百万円～1千万円	1千万円～5千万円	5千万円～1億円	1億円～10億円	10億円以上	
高知県	経営体数	平成30年	総数	1,599	497	543	192	247	36	77	7
			うち海面養殖	106	3	10	4	51	9	23	6
		平成25年	総数	2,244	951	611	245	299	62	73	3
			うち海面養殖	179	5	16	19	88	23	26	2
	構成比（%）	平成30年	総数	100.0	31.1	34.0	12.0	15.4	2.3	4.8	0.4
			うち海面養殖	100.0	2.8	9.4	3.8	48.1	8.5	21.7	5.7
		平成25年	総数	100.0	42.4	27.2	10.9	13.3	2.8	3.3	0.1
			うち海面養殖	100.0	2.8	8.9	10.6	49.2	12.8	14.5	1.1
	増減数	総数	△ 645	△ 454	△ 68	△ 53	△ 52	△ 26	4	4	
		うち海面養殖	△ 73	△ 2	△ 6	△ 15	△ 37	△ 14	△ 3	4	
	増減率（%）	総数	△ 28.7	△ 47.7	△ 11.1	△ 21.6	△ 17.4	△ 41.9	5.5	133.3	
		うち海面養殖	△ 40.8	△ 40.0	△ 37.5	△ 78.9	△ 42.0	△ 60.9	△ 11.5	200.0	
全国	経営体数	平成30年	総数	79,067	23,668	27,760	10,992	12,611	2,120	1,789	127
			うち海面養殖	15,973	2,327	3,814	2,528	5,392	1,100	773	39
		平成25年	総数	94,507	31,291	34,044	12,796	12,878	1,867	1,525	106
			うち海面養殖	17,210	2,939	4,880	2,814	5,197	802	551	27
	構成比（%）	平成30年	総数	100.0	29.9	35.1	13.9	15.9	2.7	2.3	0.2
			うち海面養殖	100.0	14.6	23.9	15.8	33.8	6.9	4.8	0.2
		平成25年	総数	100.0	33.1	36.0	13.5	13.6	2.0	1.6	0.1
			うち海面養殖	100.0	17.1	28.4	16.4	30.2	4.7	3.2	0.2
	増減数	総数	△ 15,440	△ 7,623	△ 6,284	△ 1,804	△ 267	253	264	21	
		うち海面養殖	△ 1,237	△ 612	△ 1,066	△ 286	195	298	222	12	
	増減率（%）	総数	△ 16.3	△ 24.4	△ 18.5	△ 14.1	△ 2.1	13.6	17.3	19.8	
		うち海面養殖	△ 7.2	△ 20.8	△ 21.8	△ 10.2	3.8	37.2	40.3	44.4	

注：1 「1百万円未満」は、「販売金額なし」を含む。

2 「うち海面養殖」は、海面養殖で販売実績があった経営体数であり、表3「海面養殖層」（海面養殖が販売金額1位）の経営体数と一致しません。

(4) 漁業種類別経営体

営んだ漁業種類別経営体数が全国の高順位にある漁業種類は、次のとおりです。

表6 漁業種類別経営体数

単位：経営体

漁業種類	高知県の経営体数	全国の経営体数	全国順位	構成比（%）
沿岸かつお一本釣	98	403	2位	24.3
中・小型まき網	47	384	2位	12.2
近海まぐろはえ縄	32	176	3位	18.2
ひき縄釣	338	5,409	4位	6.2
まだい養殖	61	699	4位	8.7
ぶり類養殖	42	643	5位	6.5

(5) 専兼業別個人経営体

個人経営体を専兼業別にみると、前回調査と比べ、専業は409減、兼業は217減で、兼業のうち漁業が主は59減、漁業が従は158減となり、「漁業が主」が「漁業が従」より多くなっています。

表7 専兼業別個人経営体数

単位：経営体

専業区分	経営体数		構成比(%)		増減数	増減率(%)	
	平成30年	平成25年	平成30年	平成25年			
総数	1,507	2,133	100.0	100.0	△626	△29.3	
専業	1,034	1,443	68.6	67.7	△409	△28.3	
兼業	473	690	31.4	32.3	△217	△31.4	
内訳	漁業が主	246	305	16.3	14.3	△59	△19.3
	漁業が従	227	385	15.1	18.0	△158	△41.0

(6) 後継者別個人経営体

個人経営体を後継者の有無別にみると、後継者がいない経営体が88.5%を占めています。後継者がいる経営体は、前回調査に比べて86減少しています。

表8 後継者別個人経営体数

単位：経営体

	平成30年	平成25年	増減数	増減率(%)
後継者あり	174	260	△86	△33.1
後継者なし	1,333	1,873	△540	△28.8
計	1,507	2,133	△626	△29.3

3 漁業就業者数

漁業就業者数は、前回調査と比べ675人減となっており、男女別で見ると、男性が全体の95.9%を占めています。

年齢階層別にみると、ほとんどの年齢層で前回調査に比べ減少していますが、20～24歳及び65～69歳の年齢層では増加しています。また、60歳以上が全体の54.8%を占めており、高齢化が進んでいます。

注：漁業就業者とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者をいう。

図2 漁業就業者数の推移（高知県・全国）

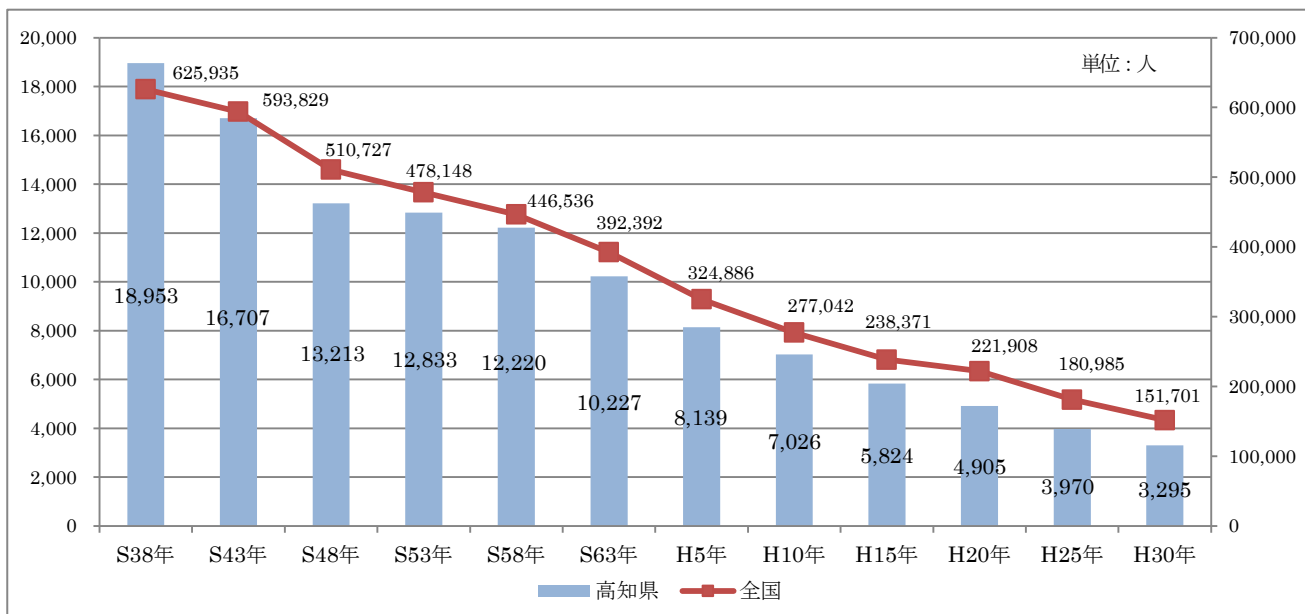


表9 男女別・年齢階層別漁業就業者数（高知県）

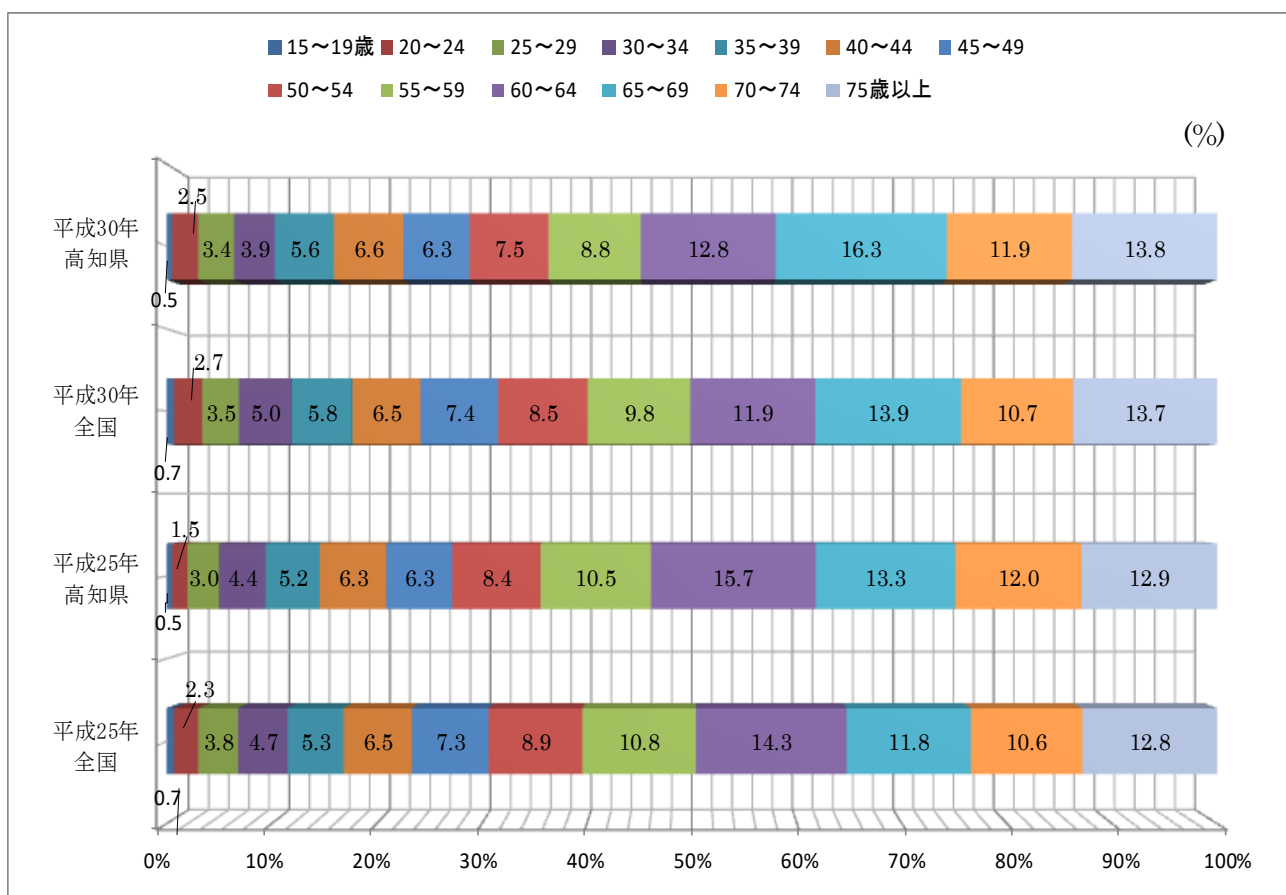
	男女計				男				女			
	平成30年	平成25年	増減数	増減率(%)	平成30年	平成25年	増減数	増減率(%)	平成30年	平成25年	増減数	増減率(%)
総数	3,295	3,970	△ 675	△ 17.0	3,160	3,785	△ 625	△ 16.5	135	185	△ 50	△ 27.0
15～19歳	16	21	△ 5	△ 23.8	16	21	△ 5	△ 23.8	-	-	-	-
20～24	83	60	23	38.3	83	59	24	40.7	-	1	△ 1	△ 100.0
25～29	113	118	△ 5	△ 4.2	110	117	△ 7	△ 6.0	3	1	2	200.0
30～34	129	174	△ 45	△ 25.9	127	172	△ 45	△ 26.2	2	2	-	-
35～39	186	207	△ 21	△ 10.1	183	204	△ 21	△ 10.3	3	3	-	-
40～44	219	251	△ 32	△ 12.7	212	236	△ 24	△ 10.2	7	15	△ 8	△ 53.3
45～49	206	251	△ 45	△ 17.9	196	241	△ 45	△ 18.7	10	10	-	-
50～54	246	333	△ 87	△ 26.1	239	321	△ 82	△ 25.5	7	12	△ 5	△ 41.7
55～59	290	418	△ 128	△ 30.6	279	400	△ 121	△ 30.3	11	18	△ 7	△ 38.9
60～64	423	622	△ 199	△ 32.0	402	586	△ 184	△ 31.4	21	36	△ 15	△ 41.7
65～69	536	527	9	1.7	509	491	18	3.7	27	36	△ 9	△ 25.0
70～74	392	476	△ 84	△ 17.6	368	446	△ 78	△ 17.5	24	30	△ 6	△ 20.0
75歳以上	456	512	△ 56	△ 10.9	436	491	△ 55	△ 11.2	20	21	△ 1	△ 4.8

表10 男女別・年齢層別漁業就業者数（全国）

単位：人

	男女計				男				女			
	平成30年	平成25年	増減数	増減率(%)	平成30年	平成25年	増減数	増減率(%)	平成30年	平成25年	増減数	増減率(%)
総数	151,701	180,985	△ 29,284	△ 16.2	134,186	157,117	△ 22,931	△ 14.6	17,515	23,868	△ 6,353	△ 26.6
15～19歳	1,065	1,274	△ 209	△ 16.4	1,038	1,220	△ 182	△ 14.9	27	54	△ 27	△ 50.0
20～24	4,027	4,211	△ 184	△ 4.4	3,933	4,093	△ 160	△ 3.9	94	118	△ 24	△ 20.3
25～29	5,352	6,910	△ 1,558	△ 22.5	5,160	6,624	△ 1,464	△ 22.1	192	286	△ 94	△ 32.9
30～34	7,597	8,593	△ 996	△ 11.6	7,198	8,172	△ 974	△ 11.9	399	421	△ 22	△ 5.2
35～39	8,842	9,642	△ 800	△ 8.3	8,300	8,842	△ 542	△ 6.1	542	800	△ 258	△ 32.3
40～44	9,826	11,803	△ 1,977	△ 16.7	8,954	10,619	△ 1,665	△ 15.7	872	1,184	△ 312	△ 26.4
45～49	11,185	13,297	△ 2,112	△ 15.9	10,079	11,573	△ 1,494	△ 12.9	1,106	1,724	△ 618	△ 35.8
50～54	12,836	16,159	△ 3,323	△ 20.6	11,239	13,920	△ 2,681	△ 19.3	1,597	2,239	△ 642	△ 28.7
55～59	14,851	19,505	△ 4,654	△ 23.9	12,875	16,528	△ 3,653	△ 22.1	1,976	2,977	△ 1,001	△ 33.6
60～64	18,003	25,958	△ 7,955	△ 30.6	15,370	21,730	△ 6,360	△ 29.3	2,633	4,228	△ 1,595	△ 37.7
65～69	21,115	21,289	△ 174	△ 0.8	17,929	17,735	194	1.1	3,186	3,554	△ 368	△ 10.4
70～74	16,164	19,219	△ 3,055	△ 15.9	13,795	15,855	△ 2,060	△ 13.0	2,369	3,364	△ 995	△ 29.6
75歳以上	20,838	23,125	△ 2,287	△ 9.9	18,316	20,206	△ 1,890	△ 9.4	2,522	2,919	△ 397	△ 13.6

図3 漁業就業者数の年齢層別構成比（高知県・全国）



(1) 新規就業者

新規就業者数は、前回調査と比べ24人増となっており、増減率は58.5%増と大幅に増加しています。

注：新規就業者とは、調査期日前の過去1年間に漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した者で、①新たに漁業を始めた者、②他の仕事が主であったが漁業が主となった者、③普段の状態が仕事を主としていなかったが漁業が主となった者のいずれかに該当する者をいう。

表 11 新規就業者数 (高知県・全国)

単位：人

		計	個人経営体の自家漁業のみ		漁業雇われ
				うち 11 月 1 日現在の海上作業従事者	
高知県	平成 30 年	65	7	5	58
	平成 25 年	41	9	9	32
	増減数	24	△2	△4	26
	増減率(%)	58.5	△22.2	△44.4	81.3
全国	平成 30 年	1,862	469	372	1,393
	平成 25 年	1,649	615	439	1,034
	増減数	213	△146	△67	359
	増減率(%)	12.9	△23.7	△15.3	34.7

4 漁船の隻数

漁業経営体が保有する漁船の隻数は、2,524 隻で前回調査と比べて 797 隻減となっています。種類規模別にみると、殆どどの漁船種類で減少していますが、動力漁船の 20～50 トンが、前回比 166.7%増となっています。

図4 漁船の隻数の推移 (高知県・全国)

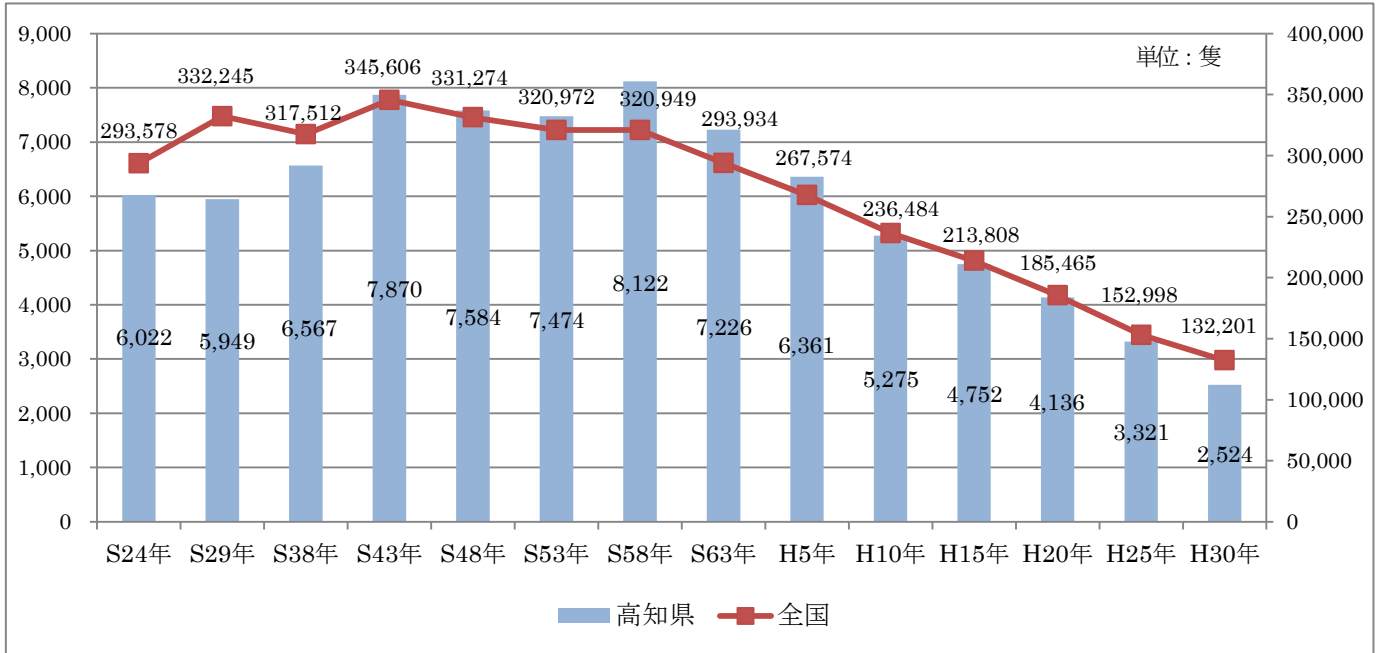


表12 漁船種類別・規模別漁船隻数

単位：隻

種類・規模	隻数		構成比(%)		増減数	増減率(%)	
	平成30年	平成25年	平成30年	平成25年			
総数	2,524	3,321	100.0	100.0	△797	△24.0	
無動力漁船	28	39	1.1	1.2	△11	△28.2	
船外機付漁船	734	971	29.1	29.2	△237	△24.4	
動力漁船	1,762	2,311	69.8	69.6	△549	△23.8	
内訳	3トン未満	477	692	18.9	20.8	△215	△31.1
	3～5トン	700	914	27.7	27.5	△214	△23.4
	5～10トン	364	472	14.4	14.2	△108	△22.9
	10～20トン	196	209	7.8	6.3	△13	△6.2
	20～50トン	8	3	0.3	0.1	5	166.7
	50トン～100トン	2	3	0.1	0.1	△1	△33.3
	100トン以上	15	18	0.6	0.5	△3	△16.7

5 市町村別主要項目

市町村名	経営体数				漁業就業者数(人)				漁船の隻数(隻)			
	平成30年	平成25年	増減数	増減率(%)	平成30年	平成25年	増減数	増減率(%)	平成30年	平成25年	増減数	増減率(%)
県計	1,599	2,244	△ 645	△ 28.7	3,295	3,970	△ 675	△ 17.0	2,524	3,321	△ 797	△ 24.0
高知市	42	45	△ 3	△ 6.7	130	110	20	18.2	80	73	7	9.6
室戸市	205	292	△ 87	△ 29.8	384	499	△ 115	△ 23.0	230	317	△ 87	△ 27.4
安芸市	30	41	△ 11	△ 26.8	79	101	△ 22	△ 21.8	67	88	△ 21	△ 23.9
南国市	22	44	△ 22	△ 50.0	38	62	△ 24	△ 38.7	38	51	△ 13	△ 25.5
土佐市	45	58	△ 13	△ 22.4	99	123	△ 24	△ 19.5	61	85	△ 24	△ 28.2
須崎市	162	275	△ 113	△ 41.1	482	474	8	1.7	302	502	△ 200	△ 39.8
宿毛市	151	184	△ 33	△ 17.9	392	440	△ 48	△ 10.9	381	426	△ 45	△ 10.6
土佐清水市	302	394	△ 92	△ 23.4	468	563	△ 95	△ 16.9	388	457	△ 69	△ 15.1
四万十市	42	98	△ 56	△ 57.1	46	109	△ 63	△ 57.8	65	132	△ 67	△ 50.8
香南市	87	89	△ 2	△ 2.2	128	127	1	0.8	125	99	26	26.3
東洋町	32	60	△ 28	△ 46.7	71	164	△ 93	△ 56.7	43	73	△ 30	△ 41.1
奈半利町	35	48	△ 13	△ 27.1	52	88	△ 36	△ 40.9	41	57	△ 16	△ 28.1
田野町	10	13	△ 3	△ 23.1	21	18	3	16.7	12	13	△ 1	△ 7.7
安田町	13	9	4	44.4	17	14	3	21.4	17	9	8	88.9
芸西村	3	4	△ 1	△ 25.0	10	15	△ 5	△ 33.3	13	8	5	62.5
中土佐町	86	122	△ 36	△ 29.5	125	161	△ 36	△ 22.4	111	154	△ 43	△ 27.9
四万十町	39	68	△ 29	△ 42.6	38	73	△ 35	△ 47.9	56	93	△ 37	△ 39.8
大月町	133	157	△ 24	△ 15.3	301	370	△ 69	△ 18.6	237	307	△ 70	△ 22.8
黒潮町	160	243	△ 83	△ 34.2	414	459	△ 45	△ 9.8	257	377	△ 120	△ 31.8

市町村名	新規就業者数(人)		
	平成30年	平成25年	増減数
県計	65	41	24
高知市	7	3	4
室戸市	7	8	△ 1
安芸市	—	2	△ 2
南国市	—	—	—
土佐市	—	3	△ 3
須崎市	17	2	15
宿毛市	11	1	10
土佐清水市	5	4	1
四万十市	—	—	—
香南市	3	1	2
東洋町	2	—	2
奈半利町	—	—	—
田野町	—	—	—
安田町	—	1	△ 1
芸西村	—	—	—
中土佐町	1	3	△ 2
四万十町	—	—	—
大月町	6	7	△ 1
黒潮町	6	6	—

○経営体数の多い市町村

順位	市町村名	経営体数
1	土佐清水市	302
2	室戸市	205
3	須崎市	162
4	黒潮町	160
5	宿毛市	151

○漁業就業者数の多い市町村

順位	市町村名	漁業就業者数(人)
1	須崎市	482
2	土佐清水市	468
3	黒潮町	414
4	宿毛市	392
5	室戸市	384

○漁船保有数の多い市町村

順位	市町村名	漁船隻数(隻)
1	土佐清水市	388
2	宿毛市	381
3	須崎市	302
4	黒潮町	257
5	大月町	237

